



暮らしのたより



黙とうをしましょう

広島、長崎に原爆が投下されたのが、42年前の8月6日午前8時15分と8月9日午前11時2分です。原爆死没者の慰霊と平和を祈念して、この時刻に黙とうをささげましょう。市は8月6日午前8時15分、広報無線のサイレンを合図に1分間の黙とうを呼びかけます。皆様のご協力をお願いします。
問い合わせ先 広報広聴課 内線2821

夏休みの統計資料の公開と研究相談

資料公開日 7月27日(月)、28日(火)9:00~16:00、29日(水) 9:00~15:00
研究相談日 7月27日(月)、28日(火) 9:00~15:00
ところ 市役所10階予備室
研究相談の内容 統計図表、社会、理科、図工、美術の研究
問い合わせ先 学校教育課 内線2731

年金等の詐取事件に注意

最近、お年寄りの年金をねらって、悪質な詐取事件が起こっています。例えば「年金に国の補助がつくので、手続をしてやる」と言って2、3万円の手数料を取ったり、あるいは「今すぐ手続をしないと年金がもらえなくなるから」と、印鑑や預金通帳を預かっ

てだまし取るといったケースです。県、社会保険事務所、市の職員が年金についての届けや手続のために手数料を取ったり、預金通帳などをお預かりすることは絶対にありません。このような悪質な事件に巻き込まれないよう、くれぐれもご注意ください。
問い合わせ先 国保年金課 内線2341

図書館の開館時間の延長

市立中央図書館と西図書館は、夏季(7月~9月)の土曜日の開館時間を、午後7時まで延長します。(通常は午後5時まで)
なお、7、8月の月末図書整理日は開館し、9月1日に変更します。

家出人や身元不明者の発見に協力を

8月1日から31日までの1ヵ月間は、身元確認強調月間です。富士署管内の家出人は、昨年6月から62人、身元不明死体は、昭和53年から8人です。富士署では、家出人を捜している方、無縁仏として葬られている方の身元発見のため、家出人を捜す相談所を開設します。どうぞご利用ください。
問い合わせ先 富士警察署刑事第一課鑑識係 ☎52-2543 内線241

食中毒に注意しましょう

7月15日(水)から8月14日(金)までは、食中毒防止月間です。
・家庭及び行楽に出かけるときは、調理食品や弁当などを低温で保存し、なるべく早く食べましょう。

・食べ物は、買ったらなるべく早く調理し、早く食べましょう。
・宵越しの料理や調理してから時間の経過した物は食べないように、食べる時は再加熱しましょう。
◇食中毒防止ポスター展
・とき 7月29日(水)~8月3日(月)
・ところ パピール4階
問い合わせ先 富士保健所 ☎65-2153

国民年金相談と保険料の集合徴収

下記の日程で国民年金相談と国民年金保険料の集合徴収を行いますので、年金の相談のある人や、保険料の納め忘れのある人はご利用ください。
※時間は各会場15時から18時30分まで

月 日	会 場
7月22日(水)	須津公民館 吉永公民館 原田公民館
7月23日(木)	神戸公民館 富士見公民館 今泉公民館
7月24日(金)	元吉公民館 吉原公民館
7月27日(月)	伝法公民館 広見公民館 大淵公民館
7月28日(火)	田子浦公民館 富士駅南公民館 富士南公民館
7月29日(水)	岩松公民館 富士公民館
7月30日(木)	丘岡公民館 鷹岡公民館 天間公民館

問い合わせ先 国保年金課 内線2344

各種の催し物がいつでもわかる
ダイヤル市政案内
☎52-1111

園芸コーナー

夏の涼を呼ぶ庭木

ナツツバキとヒメシャラ



昨年、このコーナーで雑木林風の庭づくりを紹介したことがありましたが、今回は雑木類の中でも最近特に庭木として人気が高まってきたナツツバキとヒメシャラについて紹介します。
両方ともツバキ科のナツツバキ属に

属し、ツバキ科の仲間では珍しい落葉性の高木です。ヒメシャラは、ナツツバキに比べ葉も花も小型でかわいらしいため、ナツツバキの別名であるシャラ(沙羅)にヒメ(姫)がついたことがその名の由来です。どちらも7月に白一重のサザンカに似た可憐な花をつけ、茶花として珍重されています。
木肌はサルスベリのように滑らかで淡い赤褐色系のまだらな模様に興味があるため、床柱に利用されてきました。しかし、株立状にすらりと伸びた自然の樹形もすばらしく、細い幹や枝に薄

緑色の葉が初夏の風になびく姿は見る者にさわやかな清涼感を与えてくれます。また、枝は横に張らないので場所をとらず、洋風の建物によく似合うことなども人気の高い理由でしょう。
植える時期は、秋10月~11月、または春先の3月が適期です。土壌が肥えた湿潤な場所を好みます。せん定は特に必要ありませんが、放置して枝が込み入ってくると花つきが悪くなるので、冬季か花後に枯れ枝や不要な内枝を間引いてやります。増殖は、実生か挿し木(ヒメシャラはやや難)によります。